

令和4年度 4学年「国語科」シラバス

学習の目標

目的や相手に応じ、調べたことなどについて、的確に話す能力、筋道を立てて話す能力、話の中心に気を付けて聞く能力、進行に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら話したり聞いたりしようとする態度を育てます。また、目的に応じ、中心となる語や文を捉えて読む能力を身に付けさせるとともに、読書の範囲を広げ、文字や語句について、辞書を利用することを通して調べようとする態度を育てます。

評価の観点

評価の観点	評価規準
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。
思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめている。
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えをまとめたりしながら、言葉がもつよさに気付こうとしているとともに、幅広く読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。

評価の方法

国語の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度 ○発言、発表 ○音読・朗読 ○单元テスト ○小テスト
○ワークシート ○作文 ○ノート ○提出物

学習計画

単元名	主な学習内容	家庭学習で取り組めること
<ul style="list-style-type: none"> ○春のうた ○白いぼうし ○図書館の達人になろう ○漢字の組み立て ○漢字辞典の使い方 ○聞き取りメモのくふう ○アップとルーズで伝えよう ○お礼の気持ちを伝えよう ○一つの花 ○つながぎ言葉のはたらきを知ろう ○短歌・俳句に親しもう ○要約するとき ○新聞を作ろう ○夏の楽しみ ○ランドセルは海をこえて ○忘れもの/ぼくは川 ○あなたなら、どう言う ○パンフレットを読もう ○いろいろな意味をもつ言葉 ○ごんぎつね ○秋の風景 ○クラスみんなで決めるには ○世界にほこる和紙 ○慣用句 ○プラタナスの木 ○感動を言葉に ○冬の楽しみ ○自分だけの詩集を作ろう ○熟語の意味 ○ウナギのなぞを追って ○つながりに気をつけよう ○もしものときにそなえよう ○調べて話そう、生活調査隊 ○まちがえやすい漢字 ○初雪のふる日 	<ul style="list-style-type: none"> ・春の風景に興味をもち、知っている語句を増やす。 ・人物の行動や心情、場面の様子などがよく伝わるよう、音読する。 ・図書館の工夫を見付ける。 ・漢字が、へんやつくりなどから構成されていることを知る。 ・漢字辞典の使い方を知る。 ・分かったことが明確に伝わる文章を書く。 ・それぞれの段落が文章全体の中で果たしている役割を考えながら読む。 ・手紙の型に沿って、丁寧な言葉で手紙を書く。 ・人物の性格や気持ちの変化、情景などを、叙述を基に想像して読む。 ・接続する語句の役割について理解する。 ・情景を思い浮かべたり、リズムを感じ取ったりする。 ・目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する。 ・新聞の特徴と作り方を知り、話題を決めて、伝えたいことが明確に伝わる紙面を作る。 ・夏の風景に興味を持ち、知っている語句を増やす。 ・ノンフィクションを、自分の経験や知識と照らし合わせて読む。 ・二つの詩を読んで、それぞれの感じ方の違いに気付く。 ・考えの相違点や共通点を考えながら、目的に向かって話す。 ・パンフレットのよさや工夫について考えて、読む。 ・多義語について知り、言葉への関心を広げる。 ・登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読む。 ・秋の風景に興味をもち、知っている語句を増やす。 ・よりよい話し合いのしかたを意識して、議題について進んで話し合おう。 ・説明する文章を読んで、要約する。 ・伝統工芸品に興味をもち、百科事典を使って、リーフレットを作る。 ・慣用句の意味を知る。 ・物語を読んで感じたことを発表し合う。 ・詩を書く活動の見通しをもち、進んで自らの内面を見つめて書く。 ・冬の風景に興味をもち、知っている語句を増やす。 ・言葉の使い方などに着目して、詩を集めようとする。 ・訓や、漢字の組み合わせを手がかりに熟語の意味を考える。 ・事実と考察の関係を捉えて読む。 ・言葉と言葉や文と文のつながりに気を付けて、分かりやすい文章にする。 ・テーマを決めて調べたことを、分かりやすい文章で書く。 ・生活に関する疑問をグループで調べて、分かったことを発表する。 ・漢字辞典や国語辞典を使って、正しく漢字を書く。 ・感想の中心を明確にし、声に出して読む。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>年間を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音読 ・片仮名 ・漢字練習 </div> <ul style="list-style-type: none"> ☞「白いぼうし」 ・地域の図書館の利用 ・漢字調べ ☞「アップとルーズで伝える」 ・言葉集め ・身近な人に手紙を書く。 ☞「一つの花」 ・文作り ・様々な種類のつながぎ言葉を使った文作り ・短歌・俳句作り ・読書 ・夏の言葉集め ・ノンフィクション本の読書 ☞「忘れもの/ぼくは川」 ・言葉調べ ☞「ごんぎつね」 ・秋の言葉集め ☞世界にほこる和紙 ・慣用句の意味調べ ☞「プラタナスの木」 ・詩作り ・冬という言葉集め ・詩集の読書 ・熟語の意味調べ ☞「ウナギのなぞを追って」 ・辞書を使った漢字調べ ☞「初雪のゆる日」

令和4年度 4学年「算数科」シラバス

学習の目標

算数的活動を通して、数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てます。

わり算の筆算、小数のかけ算・わり算、計算のきまり、概数、正方形・長方形の面積、角の大きさ、直方体・立方体などについて学習します。

評価の観点

評価の観点	評価規準
知識・技能	小数及び分数の意味と表し方、四則の関係、平面図形と立体図形、面積、角の大きさ、折れ線グラフなどについて理解している。 整数、小数及び分数の計算をしたり、図形を構成したり、図形の面積や角の大きさを求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けている。
思考・判断・表現	数とその表現や数量の関係に着目し、目的に合った表現方法を用いて計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力などを身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。

評価の方法

算数の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度 ○発言、発表 ○単元テスト ○小テスト
○ワークシート ○ドリル ○ノート ○提出物



学習計画

単元名	主な学習内容	家庭学習で 取り組めること
○1億より大きい数を調べよう	・億、兆の位に及ぶ整数の表し方のしくみや読み方、書き方を理解し、十進数の構造について理解する。	・数を数字や漢数字で表す練習
○グラフや表を使って調べよう	・折れ線グラフに表したり、その特徴を読み取ったりする。	・わり算の筆算の計算練習
○わり算のしかたを考えよう	・筆算形式による2～3位数÷1位数の除法計算の仕方について理解する。	・角の測定の練習や作図・垂直平行の作図
○角の大きさの表し方を調べよう	・角の概念や大きさについて理解し、図形と関連して角を用いたり、回転の大きさとしての角を測定したり描いたりする。	・小数第3位までの計算練習
○小数のしくみを調べよう	・小数第3位までの数について、その意味や表記法、加減計算の方法を理解する。	・わり算の筆算の計算練習
○わり算の筆算（2） —わる数が2けた—	・整数の除法の計算方法を理解し、それを適切に用いる。	・概数に表す練習
○倍の見方	・ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いて、計算する。	・()を使った式の計算練習
○がい数の表し方	・概数について理解し、目的に応じて用いる。	・()を使った式の計算練習
○計算のきまり	・計算の順序に関するきまりや法則を理解し、乗法の性質について理解する。	
○垂直・平行と四角形	・直線の垂直平行の位置関係や、台形・平行四辺形・ひし形などの図形の概念について理解する。	・同分母分数の計算練習
○分数をくわしく調べよう	・分数をより深く理解するとともに、同分母分数の加減計算を理解し、活用する。	・面積を求める練習
○変わり方調べ	・連動して変化する2数について、それらの関係を可視化することでその関係を明らかにする。	・小数のかけ算とわり算の計算練習
○面積のはかり方と表し方	・面積の概念や測定の意味について理解するとともに、面積の求め方を理解する。	・直方体と立方体の作図
○小数のかけ算とわり算	・小数÷整数及び整数÷整数＝小数の意味と計算の仕方を理解する。	・1年間の復習問題
○直方体と立方体	・直方体や立方体、平面上や空間内の位置の表し方について理解し、図形に関する感性を磨く。	
○4年のふくしゅう	・今までに学習した内容の理解を深める。	

※新学習指導要領移行措置のため、上記内容に加え「メートル法」「小数倍」「簡単な割合」の指導があります。

令和4年度 4学年「社会」シラバス

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を養います。

3年生で習った練馬区の学習から東京都の学習に広げ、自分たちの住んでいる地域や働いている人の様子、みんなの協力によって支えられていることを学習していきます。そして、日本の首都である東京都は、政治の中心であり、外国や他地域とのつながりがあり、情報が集まる場所であるという学習につなげていきます。

評価の観点

評価の観点	評価規準
知識・技能	自分たちの都道府県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守るための諸活動、地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、人々の生活との関連を踏まえて理解しているとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめている。
思考・判断・表現	地域における社会的事象の特色や相互の関連、意味を考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したり、考えたことや選択・判断したことを表現したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	地域における社会的事象について、地域社会に対する誇りと愛情をもつ地域社会の将来の担い手として、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

評価の方法

社会の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度 ○発言、発表 ○単元テスト ○小テスト
○ワークシート ○ノート ○提出物

学習計画

単元名	主な学習内容
1 都道府県の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都の地理的環境の概要および47都道府県の名称と位置を理解する。 ・東京都の様子から学習問題を見だし、都や区の地理的な位置や都全体の様子について、地図や資料を活用して調べ、白地図にまとめるとともに、東京都と他県との位置関係や東京都の特色を考え、適切に表現する。
2 健康な暮らし (1) わたしたちのくらしと水 (2) ごみの処理と再利用	<ul style="list-style-type: none"> ・飲料水の確保と生活や産業とのかかわりや、飲料水を確保する対策や事業が計画的、協力的に進められ、健康な生活の維持や良好な生活環境の向上に役立っていることを理解し、水資源を守るために自分にできることを考え、取り組もうとする。 ・飲料水を確保するための対策や事業から学習問題を見だし、施設・設備を調査、見学したり資料を活用したりして調べたことを作品にまとめるとともに、これらの対策や事業が地域の人々の健康の維持向上に役立っていることを自分たちの生活と関連付けて考え、適切に表現する。 ・ごみを処理する仕組みや資源の有効利用について、自分たちの生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べ、まとめる技能を身に付ける。 ・ごみを処理する仕組みや処理に携わる人々の取組について、それらが果たす役割を考え、ごみ処理に見られる課題を把握して、その課題の解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。 ・ごみの処理について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を目指すために学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。
3 水害からくらしを守る	<ul style="list-style-type: none"> ・水害から地域の安全を守るために、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳などを通して、必要な情報を調べ、まとめる技能を身に付けるようにする。 ・水害から地域の安全を守るための諸活動の特色や関連機関や人々の協力を捉え、その取組の意味を考え、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断し、表現する力を養う。 ・自然災害から地域の安全を守るための諸活動について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。
4 まちのうつりかわり (1) 受けつがれる祭り与人々のねがい	<ul style="list-style-type: none"> ・浅草・三社祭について、歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目してインタビュー資料や地図などの資料で調べ、祭りの様子を捉え、人々の様々な願いや努力を考え表現することを通して、文化財や年中行事は地域の人々が受け継いできたことや、地域の発展など人々の願いが込められていることを理解できるようにする。 ・文化財や年中行事について、学習問題を主体的に解決しようとする態度とともに、学んだことを基に、自分たちができることを考えるなど、地域に対する誇りをもち、地域の伝統や文化の継承に協力していこうとする態度を養う。
(2) まちの発展につくした人	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々の生活を向上させるために、強い願いをもって用水の開発を行った先人の働きや苦心を理解するとともに、地域への誇りや愛情をもってその発展について考えようとする。 ・地域に残る玉川上水の開発にかかわる先人の足跡を見学や調査、年表や各種の資料を活用して調べるとともに、人々の願いに支えられた努力と工夫によって地域が発展してきたことを考え、適切に表現する。
5 わたしたちの東京都 (1) 自然を生かした八丈島	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境を保護・活用している八丈島について、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ・自然環境を保護・活用している八丈島の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして、その地域の特色を考え、表現する力を養う。 ・自然環境をまちづくりにもどのように生かしているかについて、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、地域社会のよりよい発展を考えていこうとする態度を養うとともに、思考したことや理解したことを通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。
(2) 染め物のさかんな新宿区	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域について、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ・伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域の人々の活動や産業とそれらの地域の発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして、その地域の特色を考え、文章で記述したり、白地図などにまとめたことをもとに説明したり話し合ったりする力を養う。 ・伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考したことや理解したことを通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。
(3) 世界とつながる大田区	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流に取り組んでいる大田区について、位置や取組の背景、人々の協力関係に着目して、地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめたりして地域の様子を捉え、地域の状況と取組を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりしながら大田区の特色を考えることを通して、大田区では人々が協力し、国際都市を目指したまちづくりをしていることを理解できるようにする。 ・国際都市を目指したまちづくりをしている大田区の様子についての学習問題を主体的に調べ、解決しようとする態度とともに、地域社会に対する誇りと愛情をもち、地域の外国人と協力して過ごしていこうとする態度を養う。

○家から出るごみや家の水の使われ方を調べる。

○本やインターネットを使った調べ学習(水道局や伝統行事や工芸品、八丈島などのホームページを見るなど)

○3R 運動や節水など、自分たちでできることを探して実行する。

令和4年度 4学年「理科」シラバス

自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成することを目指します。

季節と生き物の関係や気温の変わり方と天気の関係、電気の働き、人や動物の骨や筋肉の働き、月と星、空気・水・金属の性質、水蒸気や氷に姿を変える水、自然の中での水の性質、雨水の行方と地面の様子について学びます。

評価の観点

評価の観点	評価規準
知識・技能	空気、水及び金属の性質、電流の働き、人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わり、雨水の行方と地面の様子、気象現象及び月や星について理解しているとともに、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。
思考・判断・表現	空気、水及び金属の性質、電流の働き、人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わり、雨水の行方と地面の様子、気象現象及び月や星について観察、実験などを行い、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している。
主体的に学習に取り組む態度	空気、水及び金属の性質、電流の働き、人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わり、雨水の行方と地面の様子、気象現象及び月や星についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとするとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

評価の方法

理科の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度 ○観察・実験中の技能 ○発言、発表 ○单元テスト ○小テスト
○ワークシート ○ノート ○提出物 ○観察カード

学習計画

単元名	主な学習内容
○ 季節と生物 (春の始まり)	<ul style="list-style-type: none"> 動物の活動や植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解する。 身近な動物や植物について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、季節ごとの動物の行動や植物の成長の変化について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現する。
1 天気と気温	<ul style="list-style-type: none"> 天気によって1日の気温の変化の仕方に違いがあることを理解し、天気の様子と気温の関係について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現する。
2 季節と生物 (春)	<ul style="list-style-type: none"> 動物の活動や植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解する。 身近な動物や植物について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、季節ごとの動物の活動や植物の成長の変化について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現する。
3 電池のはたらき	<ul style="list-style-type: none"> 乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることを実験し、問題解決する。 電流の働きについて追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、電流の大きさや向きと乾電池につないだ物の様子との関係について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現する。
4 とじこめた空気や水	<ul style="list-style-type: none"> 閉じ込めた空気を圧すと、体積は小さくなるが、押し返す力は大きくなることや閉じ込めた空気は押し縮められるが、水は押し縮められないことを理解する。 空気と水の体積や押し返す力の変化と圧す力との関係について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現する。
○ 季節と生物 (夏)	<ul style="list-style-type: none"> 動物の活動や植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解する。 季節ごとの動物の活動や植物の成長の変化について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現する。
○ 星の明るさや色	<ul style="list-style-type: none"> 空には、明るさや色の違う星があることを理解し、星の明るさや色について追究する中で、差異点や共通点を基に、星の特徴についての問題を見だし、表現する。
○ 季節と生物 (夏の終わり)	<ul style="list-style-type: none"> 動物の活動や植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解する。 身近な動物や植物について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、季節ごとの動物の活動や植物の成長の変化について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現する。
5 雨水のゆくえ	<ul style="list-style-type: none"> 水は、高い場所から低い場所へと流れて集まることや水のしみ込み方は、土の粒の大きさによって違いがあること、水面や地面などから蒸発し、水蒸気になって空気中に含まれていくことや、空気中の水蒸気は結露して再び水になって現れることがあることを理解する。 雨水の行方と地面の様子、雨水の流れ方やしみ込み方と地面の傾きや土の粒の大きさとの関係、水の状態変化と水の行方との関係について根拠のある予想や仮説を発想し、表現する。
6 月の位置や星の変化	<ul style="list-style-type: none"> 月は日によって形が変わって見え、1日のうちでも時刻によって位置が変わることや、星の集まりは1日のうちでも時刻によって並び方は変わらないが、位置が変わることを観測を通して理解する。 月や星の位置の変化と時間の経過との関係について根拠のある予想や仮説を発想し、表現する。
7 わたしたちの体と運動	<ul style="list-style-type: none"> 人の体には骨と筋肉があることや人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉のはたらきによることを理解する。 人や他の動物の骨や筋肉のつくりと働きについて、根拠のある予想や仮説を発想し、表現する。
○ 季節と生き物 (秋)	<ul style="list-style-type: none"> 動物の活動や植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解する。 身近な動物や植物について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、季節ごとの動物の活動や植物の成長の変化について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現する。
8 ものの温度と体積	<ul style="list-style-type: none"> 金属、水及び空気は、温めたり冷やしたりすると、それらの体積が変わるが、その程度には違いがあることを実験し、問題解決する。 金属、水及び空気の温度を変化させたときの体積の変化について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現する。
○ 星の動き	<ul style="list-style-type: none"> 空には、明るさや色の違う星があることを観測を通して捉え、星の集まりは、1日のうちでも時刻によって並び方は変わらないが、位置が変わることを理解する。 星の位置の変化と時間の経過との関係について根拠のある予想や仮説を発想し、表現する。
9 季節と生き物 (冬)	<ul style="list-style-type: none"> 動物の活動や植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解する。 身近な動物や植物について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、季節ごとの動物の活動や植物の成長の変化について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現する。
10 もののあたたまり方	<ul style="list-style-type: none"> 金属は熱せられた部分から順に温まるが、水や空気は熱せられた部分が移動して全体が温まることを実験し、問題解決する。 金属、水及び空気の熱の伝わり方について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現する。
11 すがたをかえる水	<ul style="list-style-type: none"> 水は、温度によって水蒸気や氷に変わることや水が氷になると体積が増えることを理解する。 水の温度を変化させたときの状態の変化について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現する。
○ 季節と生物 (春のおとずれ)	<ul style="list-style-type: none"> 動物の活動や植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解する。 身近な動物や植物について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、季節ごとの動物の活動や植物の成長の変化について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現する。

家庭学習でできること

○調べ学習

- 家の周囲で生き物を探して調べる。(図鑑やインターネットなども利用して)
- 月と星の学習では、家の外に出て観察をする。
- 学習したことで疑問に思ったことや興味をもったものに関して調べる。
- 学習した働きや仕組みが利用されている道具を探してみる。